

さいたま市議会 決算・行政評価特別委員会記録（閉会中）

平成28年3月22日（火）

開 議（午後1時01分）

○土井裕之委員長 ただいまから、決算・行政評価特別委員会を開きます。

委員会傍聴の申請が2名から出されておりますので、御報告いたします。

本日は、お手元に配付いたしました日程のとおり進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日、議長宛てに都築龍太委員の辞任願が提出されております。

議長において、辞任は許可され、新たに井原隆委員が選任されましたので御報告いたします。

これに伴い、委員席を現在お座りいただいているとおり変更したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○土井裕之委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

初めに、本日のスケジュールについて御説明いたします。

お手元の配付資料の表紙「行政評価スケジュール」をごらんください。

本日は、この後、第1分科会は第1委員会室、第2分科会は第2委員会室にて、それぞれ行政評価を行います。

各分科会4事業です。1事業当たり40分となっております。40分の内訳としましては、冒頭約5分間で執行部から事業概要の説明をいただきます。その後、約30分で質疑応答を行い、執行部退席の後、残りの5分間で評価シートを作成していただきます。シートはその都度配付し、そして回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、分科会終了後は再びこの部屋にお集りいただき、委員会を開催し、本日は終了となります。

配付資料の表紙の裏側以降に執行部から提出された資料を分科会の審査順にとじ込んでおりますので、本日はこの資料を審査に御利用いただきたいと思っております。

なお、一部、執行部のほうから訂正がある旨、御連絡をいただきまして、公共施設マネジメントの事業と中小企業の事業につきましては別紙の正誤表を差し込んでありますので、御確認をいただきたいと思っております。

それでは、暫時、休憩いたします。

休 憩（午後1時03分）

再 開（午後4時32分）

○土井裕之委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

皆様、各分科会での行政評価について大変お疲れさまでした。

今回の評価結果につきましては、申し合わせにありますとおり、評価結果と、委員名を除いた評価コメントを事業ごとに集計をいたしまして執行部宛てに送付させていただきます。

また、この行政評価につきましては、本会議において調査研究ということで付託をいただいて

おりますので、今回は平成26年度の行政報告書から抽出した8事業について、2つの分科会に分かれて評価を行いました。この実施方法に対する御意見、それから評価を実施しての感想、今後の行政評価のあり方についてなど、御発言をお願いしたいと思います。

では、各会派の皆さんからお願いしたいと思います。

それでは、自由民主党の方をお願いします。

江原委員

○江原大輔委員 お疲れさまでございました。

自民党のほうは、まず、おおむね行政評価という点においては議論できたのですが、1つ、教育委員会の案件に関しましては、非常に残念ではありますが、我々の趣旨等、教育委員会が全く把握をしていなかったというのが正直な感想でございます。

また、報告書等を見ましても、非常にほかの事業と比べてずさんでありまして、しっかりと検証をする、また、今回のスクールアシスタントというのは平成26年度から初めてやった事業なので、より確かな検証が必要であるところから、非常に厳しい発言もさせていただきましたし、委員長、副委員長におかれましては、この後また教育委員会には伝えていただきたいと思っております。

また、その中で1点、教育委員会が出された報告書の中で課題とされたことが、実はもう平成28年度の予算は済んでいまして、課題であるにもかかわらず何もないまま平成28年度の予算には計上されているという現象が行政評価の中で起きたと。時間の関係、日程の関係上仕方がないことかもしれませんが、今のこのスケジュールでやっている、今の状況でやっている一つのデメリットかと思っ、あわせて御報告をさせていただきます。

○土井裕之委員長 ありがとうございます。

鶴崎委員

○鶴崎敏康委員 別に新たに加えることはないのですけれども、今江原委員が発言したように、今回のこの行政評価のほうにつきましては、もう終わったことですのでなかなか難しい。新年度の予算も組まれておりますし。そうした中で、行政に本当にこれが生かされているのか、昨年の決算審査で小川委員がやったあの状態が改善されているのかどうか非常に懸念されます。そんな意味で、この評価の仕方、もう少し委員長、副委員長におかれましては今後検討していただければありがたいかなと思っております。

○土井裕之委員長 それでは、次に、民主改革をお願いします。せっかくですから、第1分科会、第2分科会と、どちらでも結構ですからお願いします。

小川委員

○小川寿士委員 お疲れさまでございました。第2分科会の小川でございます。

事業数4事業ということで、展開上はスムーズに評価ができたのかなと思います。今御議論がありましたように、やはり事業概要説明シートのあり方につきましては、こちらのほうから執行部側に投げかけるということもありますので、そのあり方については今回、目標指標をある程度こういった目標指標について、そういった細部における実績等々を書き込んでもらうような指定をしてもよかったのかなと思います。参考資料の中にも本当に単純な記載ミスがあったということもございました。これらについては、こちらのほうからもさらに検討をしていく必要があるのかなと思いたしました。

○土井裕之委員長 ありがとうございます。

それでは、続いて公明党の皆さん、お願いします。

谷中委員

○谷中 信人委員 公明党の谷中でございます。

今回選択した8事業につきましては非常に適切なものでありまして、私は第一分科会に参加させていただきましたが、委員の皆様の御協力もあって大変よい内容になったのかなと思っております。

ただ、課題としましては、やはり限られた時間の中でということもありまして、答弁のやりとりを考えると、やはり掘り下げるには少し時間が足りないということがありました。ただ、その時間を広げればよいかという、そういうわけでもないかと思っておりますので、ちょっと柔軟な開催ということも今後考える必要があるのかなと。

また、こういった貴重な機会であるのにもかかわらず、やはり答弁については、先ほど鶴崎委員のおっしゃったようなことがありましたので、実行性のあるものにするというようなことを委員会としても考えていく必要があるのかなと感じました。

○土井 裕之委員長 ほかにいかがですか。

吉田委員

○吉田 一志委員 第2分科会のほうでございしますが、今、江原委員、小川委員からもございましたが、特に成果実績、また現状の課題、これはスケジュールもありますし、また執行部に対して要望の仕方についても、行政評価を行うための書き方等をもうちょっと工夫したら、より深い質疑もできたのかなというようなことは感じました。

選定された事業については各会派から出されたもので、今回8つの事業ということでございましたが、それについては時間配分等も含めおおむねよかったのではないかなというように思います。

あとは、この評価の内容が今後どう生かされるかということについては、もう少し研究が必要なのかなという感じがいたしました。

○土井 裕之委員長 ありがとうございます。

日本共産党、お願いします。

鳥海委員

○鳥海 敏行委員 日本共産党の鳥海でございます。

私は第1分科会に参加をさせていただきました。各会派がそれぞれの思いを持って提出したテーマですから、掘り下げれば本当に大変深い話し合いになるのだろうと思うのですが、何分30分の範囲内ということで、それぞれの会派の委員の皆さんのそれなりに発言の時間も必要なこともあって、十分な議論にはならず、消化不良ぎみかなとは思いますが、ただ、いずれのテーマにしても、これまで常任委員会あるいは決算・行政評価特別委員会、予算委員会、本会議場などで議論をされてきた問題でもあるので、評価の基準というのはある程度事前に定まっているのかなというようなことを考えました。

いずれにしても、きょうやったことが無駄にならないように、ぜひ執行部においても生かしていただきたいと思っております。

○土井 裕之委員長 ありがとうございます。

皆さん、ありがとうございました。貴重な御意見をいただいております。全ては挙げませんけ

れども、まず、やりとりの説明シートがずさんである話ですとか、それから評価の仕方の再考、それから指標を具体的に議員側から示していくという話もありました。それからあとは、そのやりとりの時間の柔軟な運用などの提案もありました。それからあと、基準がやはり定まっていな
いといった話もありました。

こうした話を一度きちんとまとめまして、それで今後についてなんですけれども、ただいまお聞きした御意見等を踏まえて、委員長報告をこれから作成する段階に入りたいと思います。これについては、かねてから申し上げているとおり、4月か5月に理事会を開催させていただいて、改めてそこに皆さんの御意見を持ち寄っていただく、もちろんきょうの意見は受けとめますが、さらに御意見ありましたら受けとめさせていただいて、理事会で集約をさせていただいて、委員の皆様御意見をまとめて委員長報告を作成していくと、そんな流れをとりたいと思っております。そんな方向性の中で正副委員長に一任をさせていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○土井裕之委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして、決算・行政評価特別委員会を閉じます。

散 会（午後4時42分）